

# ねっとわ〜く from 長井市

2017年10月発行 会報 No.50より

長井市は山形県の南部にある人口2万8千の市です。春から夏にかけて桜・つつじ・あやめが見頃となる市のキャッチコピーは「水と緑と花のまち・ながい」。6つの小学校と2つの中学校があり、特に英語教育に力を入れています。見所やうまいもの盛りだくさんの長井市をご紹介します。ぜひお立ち寄りください！



## <ながいの黒獅子>

獅子頭はこの地域特有で「蛇頭」と呼ばれ、漆黒で目玉が丸く飛び出ており、顔を覆い隠す長いたてがみと鼻ひげが特長です。黒獅子は龍の化身とされ、獅子幕は長く20人ほどが中に入り、躍動的で力強い獅子舞となります。

案内役の警固（けご）との力比べが見所で、毎年5月下旬には市内の神社十数社が一堂に会する「ながい黒獅子まつり」が行われます。



## <白つつじまつり>

黒獅子まつりの時期には、白つつじが満開になります。白一色で、樹齢750年の古木を含む3,000株のつつじが咲き揃うと、まるで雪が降り積もったかのような見事な光景になります。



## <長井あやめまつり>

白つつじが終わる頃にはあやめが咲き始めます。あやめと言っても実は花菖蒲ですが、500種100万本が咲き誇る日本有数のあやめ公園です。「長井小紫（ながいこむらさき）」などの、長井古種と呼ばれるここでしか見られない品種も多く、朝露が光る一瞬をとらえるカメラマンもいっぱい。浴衣姿で出かけたくなります。

## <やませ蔵美術館>

水のまち長井は、水道水をペットボトルに詰めて販売できるほど水がおいしい所です。また、市内のいたるところに水路が巡っており、やませ蔵美術館の中にも水路があります。明治時代に建てられた数々の蔵と美しい庭、水琴窟などもあります。秋の紅葉も素敵です。

吉永小百合さんも訪れ、JRのポスターにも使われました。藤原文雄先生も、同じポーズで写真を撮りました！



## <川のみなと長井>

長井は、最上川舟運の港町として栄えた商工業都市であり、まちなかには江戸時代の名残を感じさせる商屋や蔵、水路があり、風情ある街並みが残っています。川とまちをつなぐ施設として、平成29年4月にオープンしました。

春には伊佐沢のいちご、夏は長井野菜や寺泉トマト、枝豆の在来種「馬のかみしめ」を使ったソフトクリーム。おいしいお酒や、市内和洋菓子店のおいしいスイーツも並びます。